

■H25.2.9 勉強会<原地区>第1回 傍聴者アンケート結果(公開「可」の記載があったアンケート)

No	本日の勉強会についてのご意見	PI プロジェクトに関するご意見
2	<ul style="list-style-type: none"> ・健康文化タウンは市全体で考えるべきだ(片浜地域などでも)。 ・鉄道高架で原地域のまちづくりをPIでなぜ行うのか。貨物駅を移転するからだと思います(早く貨物駅のまちづくりを原で話すべき)。 	
3	<p>勉強会のメンバーに女性、若い人等幅広い年齢層から出席してもらい、勉強会をした方が良いと思います。 多くの人に関心を持ってもらい、議論することで、地域の今後について考えることは、活性化するためにも必要と思います。</p>	<p>女性の観点からの意見も勉強会に入れて欲しいと思います。 鉄道高架事業の事が分からなくても、まちづくりとか、生活、暮らしの面では女性の方がより身近に体験しているので、有意義な意見が期待できると思います。</p>
6	<p>貨物駅が出来ることをチャンスとしてとらえ、一緒に津波対策施設を作ったり、大きな公園を作ったり、道路を整備したり、アンダーパスを増やすとか、そうした前向きな議論をしてもらいたいのに、そうならないのは残念です。 3.11以降公的施設を高台に移転させることが検討されている時に、医療施設を海のそばに作るのは疑問です。</p>	<p>貨物駅に併設して旅客駅を誘致しようという考えはないのでしょうか。夢はもっとふくらむはずです。</p>
7	<ul style="list-style-type: none"> ①勉強会設置にかかわる説明がわかりやすく、良かった ②勉強会の論議が傍聴者も近くで聞くことが出来る配慮をいただければと思う。 ③沼津市にとっては、重要な問題にもかかわらず、これまでの勉強会を見ている限り、市の幹部や市議会の人たちの関心が薄いように思う。 	
9	<p>お互いのグループ討議の議論が干渉しないように、部屋を分けた方がいい。確かに若い子育ての女性の意見の参加が必要だが、別の方法で意見聴取してはどうですか。保育園、小中学校のPTAを使っては！ 意見の取りまとめ方を再考を！</p>	
10	<ul style="list-style-type: none"> 1. 勉強会参加者が男(高齢)に偏っている。老若男女の参加を希望する。 2. 傍聴者席からメンバーの発言内容が聴き取れず(難く)欲求不満を覚える。 <提案>勉強グループの周りに傍聴人のための椅子を配したら如何。もっと広い場所を！ 	<ul style="list-style-type: none"> 1. 県が鉄道高架事業について真剣に取り組む姿勢が理解出来る一方、沼津市の姿勢が全く理解できない。 将に県や沼津市民に対して挑戦状を突き付けているとしか考えられない。 2. 大分意見が出てきたようなので、対象を次世代を担う高校生に拡大したら如何。 3. 東京や大阪などで、活躍している沼津市出身者の集いで意見聴取したら如何。 <p>益々高齢化が進む中、とに角、財政難の中、巨額の事業計画なので、徹底的に議論をし、後悔しないようにしてもらいたい。</p>